



100th Anniversary of Diplomatic Relations
between Japan & Finland



Power of Ceramics: Modernism in Finnish Applied Arts

Collection Kakkonen

日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念

フィンランド陶芸
芸術家たちの
ユートピア

2018年

7月14日 sat ~ 9月6日 thu

開館時間 10:00-18:00(入館は17:30まで)

休館日 月曜日

ただし7月16日(月・祝)は開館し、翌7月17日(火)は休館

主催 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

特別協力 コレクション・カッコネン

協力 有限会社スコープ、アラビア、イッタラ

協賛 大日本印刷、フィンエアー、フィンエアーカーゴ、

サッポロホールディングス株式会社

後援 フィンランド大使館、フィンランドセンター 企画協力 S2株式会社

目黒区美術館 Meguro Museum
of Art, Tokyo

トイニ・ムオナ 筒花瓶 左:1940年代 中・右:1940年代-1950年代
すべてアラビア製陶所 コレクション・カッコネン photo: Niclas Warius

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 Tel.03-3714-1201 www.mmat.jp

フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア

日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念し、「フィンランド陶芸—芸術家たちのユートピア」を開催いたします。これまで日本では、おもにフィンランドのプロダクト・デザインが紹介され、芸術作品については十分とは言えませんでした。本展は、フィンランド陶芸の体系的な展示を日本で初めて試み、黎明期から、最盛期ともいえる1950年代・60年代までを名作と共に辿ります。

19世紀末、アーツ・アンド・クラフツ運動の影響を大きく受けたフィンランドの美術・工芸は、1900年のパリ万国博覧会で高く評価され、世界的な注目を集めました。この成功は、当時ロシアからの独立を目指していた民衆に誇りと自信を抱かせ、建国とともにフィンランド陶芸の萌芽をも促しました。そして1930年代後半から始まる躍進の下地となったのは、美術工芸中央学校での陶芸家育成と、アラビア製陶所美術部門の活動でした。後者では、作家たちが自由な創作を許され、ユートピアともいえる環境から数々の傑作が生み出されていきました。そして20世紀中期には、世界的な潮流を生み出すまでに成長したフィンランド陶芸の豊かな表現が、人々を魅了し、日本の工芸界にも影響を与えました。

本展における知られざるフィンランド陶芸の世界との出会いは、その源泉に触れるとともに奥深さを知る、またとない機会になるでしょう。

関連イベント

特別講演会「フィンランドという国と人、その生活とデザイン」

日時 7月22日(日) 14:00-16:00 申込不要
講師 島崎 信(武蔵野美術大学名誉教授/
日本フィンランドデザイン協会理事)
定員 70名(先着順・席に限りがございます)

講演会「フィンランドのアラビア窯—カイ・フランクと芸術家たち」

日時 7月14日(土) 14:00-15:30 申込不要
講師 山口敦子(岐阜県現代陶芸美術館学芸員)
定員 70名(先着順・席に限りがございます)

大人のための美術カフェ

日時 8月25日(土) 14:00-15:00
申込不要

ナビゲーター 当館学芸員

*各イベントとも、高校生以上の入場には当日の展覧会観覧券が必要です。

同時開催ワークショップ

「自然のモチーフで遊ぶ」

*詳細は当館ウェブサイトにて、ご確認ください。

入館料

一般 800(600)円、高大生・65歳以上 600(500)円、小中生無料

*障がいのある方は半額・その付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示いただくと団体料金になります(他の割引と併用はできません)

- JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)下車徒歩10分
- 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅下車徒歩20分
- 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分
目黒区民センター隣接



Meguro Museum of Art, Tokyo
目黒区美術館

〒153-0063
東京都目黒区目黒2-4-36
Tel.03-3714-1201
www.mmat.jp



1



2



3



4



5



6



7

1 アルフレッド・ウィリアム・フィンチ 花瓶 1897-1902年/アイリス工房

2 花瓶《カレヴァ》 1906-1914年/アラビア製陶所

3 ミハエル・シルキン 彫像(駱駝) 1940年代/アラビア製陶所

4 キュッリッキ・サルメンハーラ 壺 1958年頃/アラビア製陶所

5 フリードル・ホルツァー=シャルバリ ポウル(ライス・ポーセリン) 1950年代/アラビア製陶所

6 ビルゲル・カイビアネン 飾皿(テーブルのある部屋) 1980年代/アラビア製陶所

7 ルート・ブリュック 陶板《聖体祭》 1952-53年/アラビア製陶所

8 アラビア製陶所美術部門(1940年代)

*1~7 コレクション・カウコネン photo: Niclas Wariius

*3, 6 ©KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2018 C2175

*8 photo: Studio Ina Roos/ Pauli Huovila/ Designmuseum, Helsinki

